

今号の主な記事

- ◇平成19年度予算案まとまる……2面
- ◇鳴尾支所浜分室と甲東支所上ヶ原・段上分室は3月末日で廃止します……2面
- ◇固定資産縦覧帳簿の縦覧……3面
- ◇「西宮さくら祭」イベント参加者募集……4面



行政方針を述べる山田市長

山田知市長は、3月定例会市議会初日に、市が平成19年度に取り組む事業や予算案などをまとめた行政方針を表明しました。「市民参画」、「安全・安心なまちづくり」、「まちの活力の向上」を重点施策とし、「行政経営改革」、「行財政改善」をさらに推し進めながら、以下(下図参照)の6つの視点で取り組む事業内容となっています。今後も「愛と希望のまちづくり」を基本理念に、だれもが住みたい、住み続けたいと願う個性豊かな文教住宅都市「西宮」の実現に向け、全力を挙げて取り組んでいきます。

住みたい、住み続けたいまち「西宮」

平成19年度重点施策

<p>市民参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画と協働のまちづくり ・団塊の世代への支援 	<p>安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災 ・安全対策 ・子育て支援 	<p>まちの活力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の振興 ・産業の活性化 ・まちの魅力アップ
---	--	---

主な事業

◆「(仮称)市民参画条例」を制定し、市民満足度の高い行政運営に取り組めます

◆育児支援訪問事業を実施し、子育てに関する悩みや不安の解消に努めます

◆西宮浜総合公園でのサッカーを中心とした多目的グラウンドの整備に着手します



子どもたちがいつも輝き、希望に満ちたまちづくりをめざします



変革期の今こそ飛躍・飛翔のとき!!
山田市長 平成19年度行政方針を表明

教育委員会行政方針

5つの柱で西宮の教育を推進

教育委員会行政方針は、尾崎八郎教育委員長が表明しました。主要事業は以下の5つの柱で構成されています。子どもたちが自ら考えその目標に挑戦しようとする「志(こころざし)」を育てる教育を推進し、「夢はぐくむ教育のまち西宮」の実現に向け全力で取り組んでいきます。



尾崎八郎教育委員長

本紙5面〜8面で、平成19年度西宮市行政方針・教育委員会行政方針を詳しく紹介していきます

子どもたちが安全で快適な学校生活を送ることができ、また緊急の災害時や学校開放時に多くの皆さんに利用していただく学校施設に十分な安全性能を確保し、環境の整備充実を進めていきます。

市民一人ひとりが自己の人格を磨き、生涯にわたって学習することができ、成果を適切に生かすことができる仕組みづくりに努めます。

子どもが基本的な生活習慣などを身につけるうえで重要な役割を担う家庭と地域の教育力を高めるため、学習機会と情報の提供に努めます。また、家庭・地域と共に青少年の健全育成を推進します。

子どもたちが夢と希望をもって自分の道を選び、切り拓(ひら)いていく「志」の育成に努めます。また、学校評価の充実はもとより、家庭・地域との協働による、開かれた学校・特色ある学校づくりを推進します。

子どもたちが自分だけでなく他の人も大切に思い、互いに尊重しあえるよう、豊かな心を育てる取り組みを進めます。市民一人ひとりが個として尊重され、共に生き、支えあえる社会づくりを一層推進します。

人間尊重教育